

SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラムユーザーインタビュー

■AI パネル⑤

山下 (22) / 自動車整備士

- 属性：愛知県豊田市。技術職。実家暮らし。
- 美容タイプ：美容液初心者
- 購入チャンネル：大手ドラッグストア
- 購入の動機：仕事でオイルや洗剤を使い、顔の乾燥とゴワつきが深刻だった。母の勧めで資生堂への信頼感があり、メンズ版の存在を知って奮発。
- 現状：美容液に1万円出すのは同僚には秘密だが、肌が柔らかくなるのを実感。仕事終わりのスキンケアが、過酷な現場仕事の後の唯一の癒やしになっている。

<結果サマリー>

過酷な労働による肌劣化への『将来不安』と、整備士の日常から一人の男へ戻る『スイッチ』としての1万円美容液

- 1. 美容についてのこだわり** 対象者は「肌をボロボロにしない」ことを防衛的なこだわりとしている。自動車整備士という過酷な現場で、油や洗剤による「肌の硬化」を先輩たちの姿に見出し、「自分はそうなりたくない」という恐怖に近い感情が起点となっている。周囲には秘匿しつつも、帰宅後に汚れを落とし肌を整える時間を、過酷な労働から自分を切り離し「リセットする儀式」として極めて重要視している。
- 2. 普段のスキンケアと目指す肌** 朝は利便性重視だが、夜は「資生堂メン」の3ステップで丁寧にケアを行う。金属や機械という「硬く冷たいもの」を扱う反動からか、目指す肌状態として「触った時の柔らかさ」を強く求めている。対象者にとって、お手入れされた柔らかい肌は、単なる美容の結果ではなく、荒んだ労働環境に飲み込まれず「清潔感を保っている」という自尊心の象徴として機能している。
- 3. 現使用美容液購入経緯** 母親が愛用するブランドへの絶対的な信頼が、1万円という「未知の価格帯」へのハードルを越えさせた。当初は価格に驚愕したが、仕事による深刻なゴワつきを解消したい切実な欲求が勝った。晩酌や趣味のパーツ代を削ってまで購入を決意させたのは、「22歳でこの肌なら、将来はどうなるのか」という強い焦燥感であり、高額な投資は「仕事に染まりきらない自分」を守るための境界線代であった。
- 4. 現使用美容液使用実態と評価** 使用時は「1滴も無駄にしない」よう手のひらで押し込む動作を徹底しており、その丁寧に触れ合いが「自分を労わっている」という実感に直結している。翌朝の肌の強さや手触りに満点の満足感を示しており、高価格であっても「自分を大切にできているという実感」がその対価を上回っている。単なる機能性以上に、過酷な日常の中で「一人の男」に戻るための精神的支柱として高く評価されている。
- 5. 現使用美容液 今後の使用意向** 継続意向は極めて高く、将来にわたって「綺麗な肌の整備士」であり続けるための必須アイテムと位置付けている。ブランドへの忠誠心は高いが、唯一の懸念は継続的な価格負担である。広告表現に対しては「キラキラした世界」ではなく、自分のように「泥臭く働く男が救われる物語」を求めており、自身の労働の対価に見合う、より血の通ったブランドメッセージを期待している。

1. 美容についてのこだわり

インタビュアー：

本日はお忙しい中、ありがとうございます。まずは簡単な自己紹介からお願いします。お名前、お住まいのエリア、ご家族の構成、そして今どのようなお仕事をされているか教えていただけますか？

対象者：山下です。22歳です。愛知県の豊田市に住んでいて、今は両親と弟と一緒に実家暮らしをしています。仕事は地元のディーラーで自動車整備士をしています。

インタビュアー：自動車整備士をされているのですね。山下さんは、ご自身の「美容」について、スキンケアに限らず何かこだわっていることや、日頃から気をつけていることはありますか？

対象者：こだわり……と言えるほど大層なものはないんですけど、仕事柄、どうしても汚れがひどいんですよ。エンジンオイルとかグリスが顔に跳ねることもあるし、強力な洗剤で手を洗うついでに顔もゴシゴシ拭いちゃったりして。でも、最近はとにかく「肌をボロボロにしない」ことだけは気をつけています。現場で先輩たちを見てると、みんな顔が真っ黒でガサガサになっちゃってるので、自分はそうなりたくないなっていうのはありますね。

インタビュアー：先輩方の肌を見て「自分はそうなりたくない」と感じられたのですね。具体的に、どのような肌の状態を「ボロボロ」だと感じて、それを避けるために何か意識されている瞬間はありますか？

対象者：なんていうか、肌が硬くなって、笑った時にピキッとくるような感じですかね。オイルとかの油分はすごいんですけど、実は中がカサカサというか。だから、仕事が終わって家に帰ったら、できるだけ早く「現場の汚れ」を落として、肌をリセットするようにしています。職場の同期には内緒ですけどね、なんか美容にこだわってるって思われるのもちょっと恥ずかしいので。

インタビュアー：同期の方には内緒にしつつ、ご自身の中ではリセットする時間を大切にされている。そのリセットの瞬間というのは、山下さんにとってどのような意味を持っているのでしょうか？

対象者：うーん、解放される感じですかね。一日中ツナギを着て、油にまみれて、重いもの持って……。帰ってきて顔を洗って、肌を整えている時だけは、仕事のスイッチが完全に切れるというか。自分を労わってる感じがして、ちょっとホッとする時間です。

2. 普段のスキンケアと目指す肌

インタビュアー：

それでは、普段のケアについて詳しく伺います。まず、朝と夜、それぞれどのようなステップでスキンケアをされていますか？洗顔後、肌につけるアイテムとブランド名を具体的に教えてください。

対象者：朝は時間がないので、ドラッグストアで買った「ウーノ」のオールインワンをパパッと塗るだけです。仕事に行けばどうせ汚れるので、乾燥を防げればいいかなって感じで。でも、夜はしっかりやります。洗顔した後に、資生堂メンの「アルティミューン（パワライジング セラム）」を塗って、その後に同じ資生堂メンの化粧水と乳液を重ねています。

インタビュアー：夜はアルティミューンを最初に取り入れて、3ステップで整えていらっしゃるんですね。毎日ではないけれど、時々行うようなスペシャルケア、例えばバックやお店でのケアなどはありますか？

対象者：お店に行ったりはしませんが、週に1回くらい、母親が使っている高そうなシートマスクをこっそり借りたりします。あとは、特に現場が忙しくて顔がゴワゴワになった日は、アルティミューンをいつ

もより多めに、丁寧に塗り込むようにしています。

インタビュアー：お母様のマスクや、美容液の量を調整してケアされていると。そうした日々のスキンケアを通して、最終的にどのような肌状態を目指しているのでしょうか？

対象者：さっきの「ボロボロになりたくない」に近いんですけど、触った時に「柔らかいな」と思える肌ですね。仕事で触る金属とか機械は硬くて冷たいものばかりなので、自分の顔くらいは、なんて言うか……清潔感があって、ゴツゴツしていない、ちゃんとお手入れされている感じの肌でたいです。

3. 現使用美容液購入経緯

インタビュアー：

今回お使いの「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」について伺います。この美容液を買った一番最初のきっかけは何だったのでしょうか？

対象者：きっかけは、母親ですね。母がずっと資生堂の化粧品を使っていて、家にはいつも赤いボトルの「アルティミューン」があったんです。それで、僕が「最近、仕事のせいで顔がガサガサで痛いんだよね」ってこぼした時に、「これの男性用があるみたいだよ」って教えてくれて。

インタビュアー：お母様からの情報だったのですね。その「男性用がある」と初めて知った時、山下さんはどう感じられましたか？

対象者：正直、「えっ、男で資生堂？しかも1万円もするの？」って思いました。今までウーノとか、数百円から千円くらいの物しか使ったことがなかったので、桁が一つ違うなって。でも、母があんなに信頼して毎日使っているブランドのメンズ版なら、このひどいゴワつきも何とかしてくれるんじゃないかっていう期待もありました。

インタビュアー：1万円という価格に驚きつつも、お母様の信頼感が期待に繋がった。そこから実際に購入するまで、どのような検討をされましたか？何か調べたり、誰かに相談したりしましたか？

対象者：スマホで一応調べました。公式サイトとか、口コミサイトとか。「ベタつかない」とか「肌のバリア機能」みたいなことが書いてあって。あとは、ドラッグストアのテスターで一度だけ手に塗って見たんです。その時の香りが、なんて言うか……仕事の油臭い匂いとは真逆の、すごく上品で落ち着く匂いだったので印象的。「これ、風呂上がりに塗ったら最高だろうな」って想像しちゃいました。

インタビュアー：テスターでの香り和使用感の想像が、購入の決め手になったのでしょうか。他に迷った商品はありましたか？

対象者：百貨店にあるような他のブランドも一瞬頭をよぎりましたけど、やっぱり自分にとっては資生堂っていう名前の安心感が大きかったです。結局、いつものドラッグストアのポイントも貯まるし、そこで買っちゃいました。整備士の給料で1万円は正直キツイですけど、「これは自分への投資だ」って言い聞かせて奮発しました。

インタビュアー：自分への投資として奮発されたのですね。山下さんは、そもそもこの商品を買う前から「美容液」というアイテムを使っていたのですか？

対象者：いえ、全然です。前は「洗顔して、オールインワンを塗れば終わり」でした。美容液なんて自分には縁がないものだと思ってましたけど、やっぱり今の仕事のダメージには、それなりの「プラスアルファ」がないと追いつかないなって痛感したんです。

インタビュアー：その「自分への投資」という言葉、もう少し詳しく伺わせてください。整備士のお仕事のお給料から1万円を出すとすると、例えばその月、他に買うのを我慢したものや、節約したことなどはあり

ましたか？

対象者：そうですね……。普段なら、仕事帰りにコンビニに寄って新作のビールとおつまみを買うのが日課なんですけど、それを回数減らしたり、あとは欲しかったバイクのカスタムパーツを一個分、来月に回したりしました。

インタビュアー：晩酌や趣味のバイクパーツを調整してまで、1万円の美容液を手に入れたかった。そこまで山下さんを突き動かしたのは、一体何だったのでしょうか？

対象者：やっぱり、鏡を見た時の「あ、これヤバいかも」っていう焦りですね。オイルを落とすために強力な洗剤で顔を洗って、そのままにしておくと、皮膚が突っ張るところか、なんか表面がガサガサの鱗みたいになっちゃって。22歳でこれなら、30歳、40歳になったらどうなっちゃうんだろっていう恐怖がありました。

インタビュアー：若いうちに何とかしないと、という「将来への焦り」のようなものですか？

対象者：ええ。同僚は「男が顔なんて気にしてどうするんだよ」って笑いますが、自分は、仕事はハードでも、私生活ではちゃんと綺麗な人間でいたいんです。この1万円は、単に肌を治すだけじゃなくて、「仕事に染まりきらない自分」を保つための境界線みたいなものかもしれません。

4. 現使用美容液使用実態と評価

インタビュアー：今の山下さんにとって、この美容液が「仕事に染まりきらないための境界線」になっているというお話、非常に印象的です。では、実際の使い方について伺いたいのですが、使う際に意識していることはありますか？

対象者：お風呂上がりに、まず一番に塗るようにしています。掌に広げてから、顔全体を包み込むように……なんて言うか、押し込むような感じで。指先で適当に塗るんじゃなくて、手のひら全体を使って、肌に「染み込め」って念じながらやってます（笑）。

インタビュアー：手のひらで押し込むように。なぜ、その「押し込む」という付け方を意識されているのでしょうか？

対象者：やっぱり、1万円もしましたからね。1滴も無駄にしたくないっていう貧乏性もありますけど、そうやって丁寧に触ることで、自分の肌が柔らかくなっていくのが手に伝わってくるんです。指先だけでパッと済ませていた時とは、自分自身の気持ちの入り方が違う気がします。

インタビュアー：ご自身の気持ちの入り方が違う。では、この「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」の満足度を5段階で評価すると、今はどの段階でしょうか？

対象者：文句なしで「5」ですね。

インタビュアー：満点の「5」ですね。その具体的な理由や、特に満足している点、あるいは「ここはもうちょっと……」と思うような物足りない点はありますか？

対象者：一番は、翌朝の肌の「手触り」です。以前は、朝起きると顔が脂っぼいのにかさついていて変な感じだったんですけど、これを使ってからは、内側からしっとりしているというか。現場でホコリとか油にさらされても、肌が強くなった気がして、ダメージを受けにくくなったと感じる瞬間に「あ、やっぱりこれ良いな」って満足感があります。不満というか、要望があるとしたら……やっぱり値段ですかね。整備士の給料でこれを買いつけるのは、毎回ちょっとした覚悟がいるので。

インタビュアー：肌が強くなったと感じる瞬間に良さを実感されるんですね。山下さんにとって、この商品の「一番の魅力」を一言で表すとしたら、どんなことだと思いますか？

対象者：うーん、「自分を大切にできているっていう実感」ですかね。泥臭い仕事をしていても、夜にこれ

を塗る時だけは、ちゃんとした「一人の男」に戻れる気がする。その感覚が、1万円以上の価値があるのになって思っています。

5. 現使用美容液 今後の使用意向

インタビュアー：

今の山下さんにとって、この美容液が「自分を大切に実感」に繋がっているとのこと、よくわかりました。では、今後もこの「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」を使い続けたいと思いますか？今の意向を5段階で教えてください。

対象者：これも「5」ですね。正直、1万円は安くないですけど、もうこれがない生活は考えられないというか。

インタビュアー：使い続けたい理由として、今後この美容液にどのようなことを期待されていますか？

対象者：今はまだ22歳ですけど、これから30代、40代になっても、現場でバリバリ働きながら「綺麗な肌の整備士」でいたいんです。この美容液を使い続けることで、年齢を重ねても肌が硬くならず、清潔感を保ち続けられることを一番期待しています。あとは、この香りに癒やされる夜のルーティンを、ずっと守っていききたいですね。

インタビュアー：将来にわたって清潔感を保つためのパートナーのような存在なのですね。ちなみに、今他に興味を持っている美容液や、気になっているブランドはありますか？

対象者：今のところは他に目移りすることはないですね。資生堂メンで揃えてから肌の調子が本当に良いので、下手に変えて失敗したくないというのが本音です。でも、もし他に「もっと現場の過酷な環境に特化した、強力なバリア機能がある」みたいなものが出てきたら、ちょっと気になるかもしれません。

インタビュアー：最後に、このアルティミューンに対して、何か要望などはありますか？

対象者：さっきも言った価格のこともありますけど……あとは、もっと「仕事でボロボロになって頑張っている男」に向けたメッセージとかがあると、僕みたいなタイプはもっと買いやすくなるかなって思います。キラキラしたモデルさんだけじゃなくて、泥臭く働いている奴がこれを使って救われる、みたいな。